

「つちだの独り言」

第 93 回都市対抗東京都第二代表決定戦二回戦

第二代表を賭けて NTT 東日本と熱戦を繰り広げるも惜敗

チャンスに決定打不足で 4 対 2 一歩及ばず

試合は前半の失点(初回 2 死 2 ストライクから 2 失点・2 回も 2 死から 1 失点)が響き中盤反撃するも 4 回・6 回 4 番指名打者小川の適時打で 2 点返す。5 回 1 死 2・1 塁のチャンスに 9 番森川サード併殺打でチャンスを潰す。8 回 2 死 2・1 塁同点の打席に 4 回・6 回に好打の小川が三振 9 回 1 死 2・1 塁のチャンスも後続が断たれた。

第四代表決定戦へ懸けて 6 月 3 日 JP アセット証券と戦い勝利で第四代表決定戦に駒を進める。この一戦が天下の分れ道。

戦いを顧みると 5 回のチャンス森川にバンドはなかったか? 2 死 3・2 塁として一打同点をの考え 8 回先頭打者森川に伊藤を代打に送ることならば 5 回にバンドまたは代打が考える。バンドは消極的な攻撃ではなく点を獲りに行く攻撃的な作戦でると考えられ。初戦の JR 戦でも JR は積極的にバンドを仕掛けてきた。NTT 戦でもバンド攻撃があった野球は点取りゲームであることを明治安田は考えるべきである。JR 戦・NTT 戦も 2 死からの失点の防御とチャンスに繋がる打撃が望まれる。第四代表決定戦は思い切り戦い 25000 人のファンの期待に応える様検討を祈る。

NTT 東日本	2	1	0	0	0	0	1	0	0	4
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
明治安田生命	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2

NTT 東日本 稲毛田(4 回 1/3)・○沼田(3 回 1/3)・多田(1 回 1/3)―保坂

明治安田生命 ●高杉(3 回)・大久保(3 回 2/3)・三宮(1/3)・森井(1 回)・中崎(1 回)―森川・道端

二塁打 中村・下川(NTT 東日本)・新城(明治安田生命)

(敬称省略いたしました。)

2022 年 6 月 1 日

土田唯雄